

平成21年度第7回公立大学法人熊本県立大学経営会議  
議 事 録

日 時：平成22年2月26日（金）午後2時30分～午後3時50分

場 所：公立大学法人熊本県立大学大会議室

出 席：理事長 蓑茂壽太郎

副理事長（学長）米澤和彦

理事（事務局長）富永安昭

理事 横田 剛

委員 田川憲生

委員 福田興次

委員 本田榮子

委員 安田公寛

印は、公立大学法人熊本県立大学経営会議運営規程第3条第1項の規定に基づく書面での意思表示による出席者。

欠 席：なし

事務局：三角事務局次長兼企画調整室長、井上学生サービス担当次長兼教務入試課長、高橋学生支援課長、枝國地域連携センター事務長、田中学術情報メディアセンター事務長、阪本総務課総務班長、城内総務課財務班長、上村企画調整室主幹、林企画調整室主幹

1 開会（進行：三角事務局次長）

2 理事長あいさつ

3 議 題（議長：蓑茂理事長）

（1）審議事項

「もっこすプラン2010」について

事務局から、資料1に基づき、「平成22年度年度計画は、重点実施項目として“研究力向上のための研究体制の強化”、“熊本で世界と向き合う国際化の推進”、“大学運営における自律と自立の更なる推進”の3項目を掲げて取り組む」との説明があり、その上で、重点実施項目に関する具体的な取組内容の説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

（2）報告事項

平成22年度大学入学者選抜一般入試の出願状況について

事務局から、資料2に基づき、「一般入試は、定員349名に対し志願者2,182名、志願倍率6.3倍で前年度に比べ564名（35%）増加しており、志願倍率、志願者数ともに3学部体制になってから過去最高の状況。ただ、全体が増加している中、環境共生学部の居住環境学科については、1.4倍と前年度を下回る結果となった。なお、新聞等では経済状況等の影響で地方は国公立大学の志願が増加しているとの報道があったが、九州内の国公立大学を学部単位で見えてみると、全ての大学が増加傾向にあるわけではない。

本学は学部単位としては全て増加あり、法人化後の努力の成果が出てきていると受け止めている」との報告があった。

平成22年度大学院入学者選抜の実施状況について

事務局から、資料3に基づき、「日本語日本文学科及びアドミニストレーション研究科は定員に達していないが、大学院全体では、募集人員61名に対し60名の状況となっており、定員管理上は良好な状況になっている」との報告があった。

西部電気工業(株)から熊本県立大学未来基金への寄附金の贈呈及び「西部電気工業奨学金」の創設について

三角次長から、資料4に基づき、「西部電気工業(株)から熊本県立大学未来基金への10年間で総額5千万円の寄附の申し出があり、去る1月26日に贈呈式を行った。本学としては、この寄附金を基に、熊本県立大学生奨学金の一種として新たに「西部電気工業奨学金」を創設し有為な人材の育成のために活用する」との報告があった。

合志市との包括協定の締結について

事務局から、資料5に基づき、「去る2月4日に合志市との間で包括協定を締結した。今後は、人材育成やまちづくり、地域づくりのための連携、環境共生活動のための連携、地域産業、教育文化振興のための連携などに取り組んでいきたい」との報告があった。

学部長等の選考について

米澤学長から、資料6に基づき、「各学部長等の任期満了に伴い、文学部長として山田隆教授、環境共生学部長として有園幸司教授、総合管理学部長として三浦章教授、以下各センター長、学科・コース長を選考した」との報告があった。

教員の採用について

米澤学長から、資料7に基づき、「環境共生学部4名、総合管理学部1名の計5名を採用する。環境共生学部は建築設計を専門とする准教授、栄養指導論を専門とする准教授各1名、海洋生態学を専門とする助教、栄養教諭に係る教職課程を専門とする助教各1名の計4名。総合管理学部は情報科学を専門とする助教を1名。採用は全て平成22年4月1日を予定している」との報告があった。

#### 4 その他

次回経営会議は、平成22年3月19日(金)午後2時30分開催予定であることを確認した。

#### 5 閉会

以上